

●予防医療に貢献した研究者を顕彰する「遠山椿吉賞」●

野田光彦氏 (61 才)

糖尿病予防指針確立のための大規模疫学研究に基づく
調査・解析で、「遠山椿吉賞」を受賞石和田稔彦氏 (49 才)、小児の細菌性髄膜炎予防ワクチン導入
と普及に関する研究で「遠山椿吉記念 山田和江賞」受賞一般財団法人東京顕微鏡院
医療法人社団こころとからだの元氣プラザ

今年創業 124 周年を迎えた一般財団法人東京顕微鏡院と同法人の保健医療部門をルーツとする医療法人社団こころとからだの元氣プラザは、予防医療に貢献する研究者の顕彰制度、「遠山椿吉記念 第 4 回 健康予防医療賞」(副賞 100 万円) に、野田光彦 (のだ みつひこ) 国立国際医療研究センター 糖尿病研究部長による「地域住民コホートにおける糖尿病の大規模疫学研究—糖尿病の実態把握とリスクアセスメントによる予防指針確立のための調査・解析—」の授賞を決定しました。長年にわたり日本の糖尿病の大規模疫学研究において主導的役割を果たされ、日本糖尿病学会のガイドライン、糖尿病の予防指針の確立へ多大な貢献をされたことが高く評価されたものです。

また、遠山椿吉賞応募者のうち、優秀な研究成果をあげており、これからの可能性が期待できる 50 歳未満の応募者に対して創設した「遠山椿吉記念 山田和江賞」には、石和田稔彦 (いしわた なるひこ) 千葉大学 真菌医学研究センター (感染症制御分野) 准教授による「本邦への小児細菌性髄膜炎予防ワクチンの導入と普及に関する研究」に、「遠山椿吉記念 第 4 回 健康予防医療賞 山田和江賞」(副賞 50 万円) の授賞を決定しました。小児感染症の中で最も重篤な感染症の代表的疾患、小児細菌性髄膜炎の予防を目指し、地道な研究を予防医療の実践につなげていること、今後の展開が期待されることが高く評価されました。

遠山椿吉賞は、選考委員会による厳正な審査を経て、選考委員長同席のもと当法人経営会議による協議の結果、決定しています。

授賞式・記念講演は、平成 28 年 2 月 4 日 (木)、都内で関係者を招き開催いたします。

本賞の趣旨と本年度の優先課題：

創業者遠山椿吉の生き方を尊重し、病を早期に発見し、治療へつなげるという予防医療の基本目標について、地道に社会への貢献を追求する研究者を顕彰する賞と位置づけています。尚、本年度の優先課題は、将来の予防医療のテーマに先見的に着手したものとしました。

遠山椿吉とは：

医学博士 遠山椿吉(1857～1928)は、明治時代に、日本初の臨床検査の専門機関「東京顕微鏡院」を創立し、顕微鏡検査技師の養成、学会誌発行、市民への普及啓発など公衆衛生に力を尽くした細菌学者。初代東京市衛生試験所所長を兼任し、伝染病予防のため水質に着眼し、東京に安全な水道水の供給を実現。予防医療を提唱し健康診査を実施しました。

「遠山椿吉記念 山田和江賞」は、当財団が戦後 10 年間休止していた事業を再建し、平成 26 年に享年 103 歳で亡くなられた故山田和江名誉理事長・医師の 50 余年の功績を記念して創設されました。

報道機関からのお問い合わせ先：

一般財団法人東京顕微鏡院 公益事業室 三橋 TEL:03-5210-6651

メール：mitsu@kenko-kenbi.or.jp

ホームページ：http://www.kenko-kenbi.or.jp/

http://www.genkiplaza.or.jp/